



西白河郡矢吹町堰の上地内における廃液流出事故の発生について (第4報:終報)

1月29日(月)に発生した西白河郡矢吹町堰の上地内での廃液流出事故については、調整池において中和処理及びバキューム吸い上げの処理作業を実施し、排水基準を満足するまでに改善が図られました。

1. 概要

- ・ 確認場所：西白河郡矢吹町堰の上地内（隈戸川まで約0.3km、釈迦堂川合流点まで約7.0km、阿武隈川合流点まで約12.0km）
- ・ 確認日時：14時25分頃（福島県より情報）
- ・ 事 象：西白河郡矢吹町堰の上地内の事業所から約2.5m³の廃液（塩化第二鉄、塩酸及び銅を含む水溶液）が調整池に流出
- ・ 原 因：事業所施設内の廃液を集めるタンクに通じる配管が雪氷の影響で損傷し流出

2. 対応状況

【1月29日の対応】

- 13:15 事業者が矢吹町へ通報
- 14:25 福島県から福島河川国道事務所へ通報
- 14:35 福島河川国道事務所から関係機関へ連絡（下流自治体及び下流利水者）
- 15:17 県が事業所から調整池を経由して隈戸川へ流出する水路において簡易水質測定を行った結果、pHが3.1を計測
- 15:39 福島県県南建設事務所が事故発生付近から下流約1.5kmまで巡視の結果、魚類のへい死を含め異常なし
- 15:58 福島河川国道事務所の郡山出張所が阿武隈川本川から釈迦堂川合流点まで巡視の結果、異常なし
- 16:30 福島県県南地方振興局が隈戸川下流の鶯橋、雷神橋、柿の内橋（約下流3km）で確認した結果、魚類のへい死は確認されなかった
- 16:30 事業者は調整池で中和作業及び池の水をバキュームで吸い上げの作業を実施
- 18:54 福島河川国道事務所が、阿武隈川本川合流前の釈迦堂川で、簡易水質試験によりpHを測定異常を示す結果はなかった

【1月30日の対応】

- ・ 国、県での河川巡視及び簡易水質試験の結果、異常なし
- ・ 県が分析機関において、調整池及び河川で採取した試料により水質分析（室内分析）を実施
- ・ 事業者が、調整池で中和作業及びバキュームによる回収作業を継続

【1月31日～2月2日の対応】

- ・ 国、県での河川巡視の継続。異常なし。（河川への影響は無い）
- ・ 事業者が、調整池でのバキュームによる回収作業を継続
- ・ 県が分析機関において、調整池で採取（1月31日、2月2日）した試料により水質分析（室内分析）

を実施

【2月3日～2月5日の対応】

- ・事業者が、調整池でのバキュームによる回収作業を継続
- ・県が分析機関において、調整池で採取（2月4日、2月5日）した試料により水質分析（室内分析）を実施

3. 水質分析(室内分析)結果

1月30日採取試料：調整池で採取した試料での分析 pH：3.0、銅：17mg/L

河川で採取した試料での分析では異常を示す結果は見られなかった

1月31日採取試料：調整池で採取した試料での分析 pH：6.1、銅：11mg/L

2月 2日採取試料：調整池で採取した試料での分析 pH：6.3、銅：4.6mg/L

2月 4日採取試料：調整池で採取した試料での分析 pH：6.5、銅：2.0mg/L

2月 5日採取試料：調整池で採取した試料での分析 pH：6.6、銅：1.7mg/L

※福島県条例による排水基準（pH：5.8～8.6、銅：2mg/L）

4. 今後の対応

事業者が、引き続き調整池の水質状況を監視します。

※現時点で、関係機関と情報共有済みであり、取水停止及び被害の情報はありません。

※塩化第二鉄及び塩酸の水溶液は銅の加工に使用するものであり、これらは酸性ではあるものの、有害物質ではありません。

<<発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者会>>

【流出事故に関する問い合わせ先】

■福島協栄株式会社

TEL 0248-42-3151(代表)

代表取締役 こばやし ひさと
小林 久人
取締役（工場長） おかだ さとし
岡田 聡

【河川に関する問い合わせ先】

■阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局 事務局

国土交通省 福島河川国道事務所

TEL 024-546-4331(代表)

河川管理課長 ひらだて じゅんいち
平館 淳一（内331）

■福島県 生活環境部 水・大気環境課

TEL 024-521-7257

課長 わだ ゆたか
和田 穰（内2810）